

春雲解話

上

春外書冊

			和書門
	二	九	三
	一	八	四
	二	二	三
冊	架	函	號

135

庫	文	閣	內
九		四	和
四		二	書
函		四	
一	二	一	
四	冊	三	
架		號	類

內閣文庫	番號	和 42413
	冊數	2 (1)
	函號	194 135

小技曲藝

算法一四

194-135



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



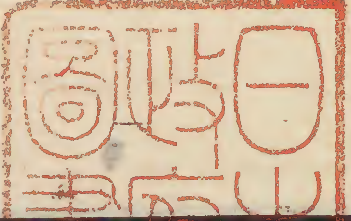
弘化二年乙巳暮冬

荒井堯民著

春雪解話

東都

玉巖堂



春雪解話序

淺草文庫

撰擇方位書。近來最夥。好集之。則動至棟。而大抵偽謬不足信。世俗往往狃偽書。術家亦借為漁利之途。試令今之所謂撰擇家者。作宅舍。修煞。

春雪解話序

遯神。不唯不能求福。反以速禍。予甚憫焉。故經學餘暇。則究心撰擇諸書。頗得其原委。今茲孟春。神煞考辨草稿始成。凡八卷。爰考訂其二卷。名曰春雪解話。讀是書者。如太

陽之照春雪。曉然解其惑。無狃偽書。無為術家所惑。則吾幸也夫。

天保甲辰清明後三日

晴湖荒井堯民序



門戸禁開秘傳

二百十日

九十九日

山古出村

無福屋

春雪山集

春問

春問

春雪解話卷上

春雪解話上

晴湖荒井堯民著

○曆問

天保甲辰ノ孟春飛雪零々タリ予書屋櫻樹
 ノ陰ニアリテ寂蕭タリ疊數四疊一半コノ
 半ヲ中央トシテ爐ヲ開洹寒ヲ凌グガ為ト
 ス又中央ノ爐火ハ火生土ノ相生ヲ以吉相
 トス午時ニ至テ滿庭銀ヲ堆ス詩情頻ニ催
 シ既ニシテ一友來リテ柴扉ヲ叩ク直ニ採

春雪解話卷上

筆一絶ヲ賦ス

書屋中間爐火紅沸湯温酒壓寒風雪中敲

打風流客須答閑翁在庵中

童子客ヲ迎テ來ル薪ヲ添テ偶坐シ閑談時

ヲ移ス客懷中ヨリ一書籍ヲ出シ吾ニ示テ

曰此書ハ多ク政談改革ノ事ヲ説ク其是非

ハ吾ガ與ルニ非レズ其説トコロ剛健ノ

オアリテ通快其人トナリ京都ノ人トハ思

ワレズ能ク東都ノ氣質ニ遇リ曆日ノ事ト

言フ一條ニ至リ吾讀テ感服スレズ先生願

クハ其是非ヲ告ヨ吾聞テコレヲ閱スルニ

其説ク所一理アルニ似タレズ其原理ヲ極

メズシテ己ガ卓見ニマカセ切々改革セン

ト言フ其文ニ云總テ曆ノ肝要ハ月ノ大小

ヲ立テ干支ヲワリ付ケ二十四氣ヲ配分シ

日食月食ヲシルナドノ數端ニ過ズ其余ハ

一切無用ニ屬ス八將神ナドハイツ頃ヨリ

書出セルトニヤ曆法ニアツカルトニテハ

無シ一向無替ノ妄誕ナリ世ニ中段下段ト
稱スル建除ノ名ハ曆法ニ古ク見エタル
ナレモ是亦甚シキ妄誕ニテ吉日凶日皆言
フニ足ザルト又方角ノ開塞ヲ言フ
甚ダ世間ニ害ヲナス妄誕ナリ天下愚昧ノ
民惑安ク曆書ニシカト書キ示スユヘ一向
ニ曉サレシトナリタリ歎ズルニ余リア
リ先王四誅ノ一ツニ鬼神時日ヲ假テ衆ヲ
疑スルハ殺ストアリ今ノ曆書ニ八將神ハ

鬼神ヲカリ中段下段モ皆衆人ヲ疑惑セシ
ムルノ尤ナレバ正ク先主ノ誅ヲ犯タルモ
ノナリ深ク制禁ヲ加ヘ大ニ曆ヲ改タキ
ナリ先ツ巻首ハ八將神ノ所ヲ殘ラズ削リ
ステ期年三百六十日一切是レ吉晝夜百刻
十二時未嘗有凶ト大書シ其傍ニ天下ノ人
其家ノ親先祖ノ年ニ一度ノ忌日ヲ凶日ト
シテ其餘ノ日ハサラリト削ステ淨潔ノ曆
ニ改タキナリト書タリ讀終リテ客ニ告

テ云吾常ニ經學ノ餘暇アレバ方位ノ書ヲ
 好テ頗ル其原理ヲ窮タリ則辨論シテ足下
 惑ヲ解悟セズンバ有ベカラズ然レモ曆
 ハ固コレ國政ノ一事黎庶ノ辨ズベキニ非
 ズ今吾辨ズルハ正ニ此書ノ妄説ヲ辨解ス
 ルガ為ナリ夫天地ノ間ニ神無ク日ニ吉凶
 無ト言ハ大ナル誤ナリ天地ニ陰陽五行ノ
 相生シ相尅スルヲ以テ神ノ妙トスル所ナ
 リ萬物是ガ為ニ其育スルノ氣ヲ受ルトキ

ハ相生シ其殺氣ヲ受ルトキハ相尅ス四時
 ノ造化皆生尅ヨリ行ル故ニ吉神ノ値日ハ
 殺氣無キ吉日ナリ凶神ノ値日ハ則育氣無
 キ凶日ナリ方位又此ノ如シ是則八將神並
 ニ中段下段ヲ曆ニ誌ハ其吉日ヲ知ル為ナ
 リ夫ノミナラズ予嘗テ聞ク曆ハ民ニ時ヲ
 授ケ種耕蠶織大時ヲ違ヘザルガ為ナリ中
 華ニテハ帝堯ヨリ始リ本朝ニテハ
 神武天皇ノ頃ヨリ曆書アリテ
 持統天

春雪解話卷上

皇ノ時嘉元曆世ニ行ル夫ヨリ數年ヲ經テ
 清和天皇ノ時唐ノ宣明曆ヲ用ヒ其後
 貞享曆ニ改ル夫ヨリ後世是ヲ祖トシテ今
 曆ニ至レリ皆凶日ヲ嫌ヒ吉日ヲ取ラ主ト
 ス故ニ中段下段ハ民ニ吉凶ヲ知ラシメ惡
 ヲ忌善ヲ勸メ人心ヲ直クシ天下泰平ナラ
 シムルノ教基トス故ニ日ヲ撰ニハ日神ハ
 カリニテハ諸事ノ宣忌ハ辨ズレモ造營動
 土旅行縁組ナドノ一ニ至リテハ方位ニ非

レバ吉凶ヲ知リ難シ故ニ年神月神日神ヲ
 舉テ其方向ノ吉凶ヲ教シム卷首ノ八將神
 ハ則年神ナリ二十八宿值月ヲ著タルハ則
 月神ナリ中段下段ハ日神ニテ撰ミシ一ナ
 リ土御門家ニテ選ム所ノ曆何ゾヤ鬼神時
 日ヲ假テ妄誕ヲ説キ世人ヲ惑ワサンヤ是
 ヲ削テ淨潔ノ曆ニ改メント言ハ愚昧ニア
 ラズシテ何ゾヤ是ヲ削ラバ淨潔ノ曆ニナ
 ラズ勿略ノ曆トナルベシ先王四誅ノ一ツ

皇極經世一

ヲ犯スト書シハ反テ己ガ上ヲ犯セルニ非
ズヤ今曆ニテ數箇年ノ間民用テ足り何ゾ
改革スルニ及バンヤ聖言ニ十箇年致シ來
ルハ惡シトテ改革スヘカラズトアリ實
ニ其神智ノ深キト感ズルニ餘リ有リ八將
神並ニ中段下段ノ吉凶神煞ノハ吾稿ス
ル所ノ神煞考辨ノ内今曆ニ在ル所ノ神煞
計ヲ抄録セシ書アリ後日又是ヲ話スベシ
客吾説ヲ喜デ拜謝ス談餘事ニ移リ客又本

命の煞麒麟星鬼門ノ説ヲ聞ント請吾其兩
端ヲ叩テコレヲ示ス

○本命の煞

佐元直指並ニ郭氏元經ニ本命の煞本命官
符ノ亥ヲ著ス各年太歳ノ干支ヲ九宮ノ中
ニ入レ本命ノ干支遁テ到ル所ノ方ヲ本命
的煞大凶方トス璇璣經ニ八月家日家ノ本
命的煞ヲ著ス郭璞曰年ノ本命の煞ヲ犯セ
ハ其灾速ニシテ三年ノ内ニ在リ月ノ本命

春雪解詩卷上

ヲ犯セバ又速ニシテ其災一年ノ内ニアル
ベシ又日本甲ノ内ニ犯者ハ立トコロニ宅
長死亡ヲ主ル次甲ノ内ニ犯者ハ官刑疾病
ノ災ヲ主ル三甲ヲ犯セバ沈吟シテ小ノ時
疾病アレバ大ナル災ハナシ四甲ヲ犯セバ
沈吟シテ死灰ノ如ク災ナキ一死灰ノ燄ナ
キガ如シ五六甲ヨリハ全ク災禍ナシ憂慮
スベカラズ又曰惟家長ノ本命ヲ忌デ餘人
ハ妨ナシ是正説トシテ京都ニテ著ス方位

書ニ多ク辨ヲ増テ世間ヘ示ス是ガ為ニ
民間此方ヲ忌懼ル一方位ノ極凶トヲモエ
リ又世俗ニテ何人ノ説ナルヤ華甲九宮ノ
内ノ中ニ本命干支ノ到レル年ヲ中本命ト
シ八方塞ト號テ一箇年ノ内修造動土萬事
皆凶トシテ忌懼ル一ニナリタリ黎庶ハ兎
モアレ貴人高位ノ人マデモ是ヲ忌諸侯ノ
大藩廣大ノ宅家作狂風ノ垣ヲ倒シ暴雨ノ
壁ヲ穿チ捨置ガタキ一有リテ無益ノ憂慮

春雪解詩卷上

ヲ勞スベシ如斯キ妄説ニ惑ヲ取ラバ識者
ノ譏リヲ買シカハ方塞ノ説全ク偽言ニシ
テ取ルニ足ラズ本命的煞ノ本論モ是亦正
説ニ非ズ又按ズルニ的殺七甲ノ内本甲ハ
災甚シ次甲コレニ次ギ五甲ヨリ七甲マデ
段々ニ災消失ストアリ考ルニ此説ハ爐中
ノ火初メハ燄盛シテ時移ルニ隨ヒ段々ニ
消失スル如ク書タリ本命的煞ハ六十年各
年ニ順飛シテモ何ゾ爐火ノ如ク消長衰旺

スヘキ理嘗テナキナリ尤モ大將軍ナド
ハ四孟ノ年トテ衰旺ノ一アレドモ是トハ
違ヒシ理ナリ其偽造タル一是ニテモ知ル
ベシ又按ズルニ本命ト號スルハ人々生ル
年ノ太歳ヲ言フ甲子ニ生ル人ハ甲子ノ干
支ヲ指テ本命トス此本命ハ其年ノ太歳ニ
テ人々一代ヲ守ル氏神ト比シキ神ニアラ
スヤ蓋的煞ノ順飛ハ華甲六十年ノ内ヲ八
方中宮ト九ツニワリ初甲ヨリ六甲マデ五

十四年七甲ヲ六年足シテ六十年ノ數ニ備
フ各ノ本命ノ干支各年九宮ヲ順飛シテ到
ル方ヲ指テ本命的煞トスルハ是大ヒナル
誤ナリ其順飛シテ至ル所ノ坐山ハ則己ヲ
守護スル本命吉神ノ坐山ナリ各年到ル所
ノ坐山ニ歲德歲德合貴人祿馬等ノ吉神集
ル坐山ニ到ラバ真ノ大吉方ニテ福ヲモ發
スベシ又歲破三殺金神等ノ凶神集ル坐山
ニ到ラバ凶方タルベシ然レドモ月家日家

ノ制化ニ忌マザル月日モアルベシ又按ニ
的煞各年ノ順飛ニヨリ離ノ方ニ到ル其離
ノ方ヲ的煞トスルハ的ノ字解ベカラズ的
トハ向ニ物アリテ相對スルヲ的ト言フ離
ノ坐山へ本命到ラバ坎ノ坐山ヲ指テ的煞
ト云バ理アルニ似タリ又本命中宮ニ到レ
ハ的トスル所ナシ八方開キニテ一箇年ノ
内萬事不忌ト為モ可ナラシカ故ニ通德類
情凡例ニモ方道既ニ利ニシテ主命本命ハ

蘇寧解記卷上

四柱日時云年月ト相合スレバ發福アリト言然レ此說ハ全ク吾臆說ニシテ論外トモスベシ其偽造ニ疑ナキヲ又辨ズベシ凡神殺ノ方位ニアルハ皆各原委アリ皆太歳ノ指揮スル所ナリ故ニ二十四山其太歳ト相喜相合シ及太歳ノ生扶スル者ヲ則吉神トス亦太歳ト相冲シ相闘セ及ビ太歳ノ尅制スル所ノ者ヲ則凶神トス太歳ニ與ガル者ハ槩皆偽造ノ神殺ナリ乾隆

年間ニ王命アリテ儒官ヲ集テ協紀辨方ノ書ヲ著述アリシニ五要奇書ノ内郭氏元經佐原直指等ノ書ハ專ラ飛吊ヲ重ンジテ太歳ニ本ヅヒテ神殺ヲ論ゼズ故ニ郭氏佐原ノ著シタル本命的煞ハ偽造トシテ加エラレズ其後吳興ノ沈亮功ガ協紀辨方ニ遵テ通徳類情ヲ著述シ太歳ヨリ起タルヲ五要奇書ノ内ヨリ神殺二十餘條ヲ撰ミ出シテ増入ス是ニモ本命的殺ヲ初トシテ數箇條

ノ神殺少皆假捏ノ神殺トシテ増入セズ觀
ベシ本命的煞ノ偽造ナルヲ疑フナカレ

○麒麟星ノ考

何人ナルカ著ス所ノ方位ノ書ニ佐元直指
ヲ引テ曰麒麟星並ニ天月徳同宮ニ至ル所
一切ノ凶殺悉ク壓倒ス凡動作修造入宅婚
姻出行行軍全ク吉ナリ二徳至リ麟星至ラ
ザレバ孤徳トス麟星到テ二徳至ラザレバ
獨麟トス俱ニ幸福ヲ招クアタワズ言テ

歳徳ニヨトラザル吉星トス又文化年中京

都ヨリ江府へ獨リノ術家來テ麒麟星ヲ種

トシ漁利ノ途トナシ世間多クコレガ爲ニ

欺レタリ此星モ佐元ノ妄説ナリ然レドモ

人々吉星ト心得感服シタルハ正シク名號

ノ吉ナルニ因テナリ彼ノ世俗十死受死ノ

凶名ヲ嫌フハ人情ノ常ナリ愚按ズルニ佐

元直指ノ此條ニ曰丁ヲ麒麟トス又天徳ト

ス五月ハ天徳乾ニアリ又天徳トスルノ一

句大ナル訛謬ナリ故ニ此言五月月徳丙ニ
 アルヲ以テ第二甲ノ丙申坎ニ至ルヲ取テ
 以テ麒麟月徳同ク坎宮ニ至ルトスルハ極
 テ正ヲ得タレ元經以來吊替ノ宮ヲ尋ル
 ハ本甲ヲ以テ正法トス丙申第二匝ヲ取ル
 者極テ偽造トス夫ノミナラズ通徳類情ニ
 佐元曰麒麟星ト金鳥ト同會シテ支金鳥合即歲
 又云月徳到ニ遇テ其方ニ報ズレバ嗣續ヲ
 催ス一ヲ主ル按ニ佐元ノ載ル所明々タレ

氏甲乙ノ年ハ辛戌ニアリ丙丁ノ年ハ乙辰
 ニアリ一ハ干一ハ支確トシテ是レ羅經ノ
 方位本方ヲ修シテ飛吊ヲ用ヒザルハ空ニ
 似タレ氏唯乙卯丁酉戊子庚午壬寅五年ノ
 方金鳥ト同會ス此五年ノ内又天月徳至ル
 ノ方ヲ擇テ然メ後コレヲ修報ス或古人修
 報ノ方如是ナルカ然レ氏甲乙ノ年何ヲ以
 テ辛戌ニ在ルヤ丙丁ノ年何ヲ以テ乙辰ニ
 在ルヤ義ノ可通ナシ恐クハ亦術家ノ爲ニ

所捏今五要ヲ註スル者ノ麒麟星自ラ來ル
所ヲ問ズ唯飛弔ノミヲ言是本ヲ舍テ末ヲ
求ルナリ今刪去トアリ是ニテ此星ノ偽造
タルヲ知ルベシ當今ニ至テ未ダ其理ヲ窮
ズ世ニ信尊スル輩アリ因テ是ヲ辨ゼリ

○凶方出行

君ノ命ニヨリテ遠國ニ出行スルニ望デ其
到ル所ノ方向歳破三殺ナドノ凶方ナル
アレバ忌懼テ心慮ヲ勞スルモノアリ尤至

極ノ一ナリ愚按ニ主命ニテ動クトキハ其
命ニ應ズルヲ順トメ吉トス應ゼザルハ逆
トシテ凶トス故ニ譬バ凶方ニ到レバ方向
ノ吉凶ヲ問ベカラズ凶方ヲ犯セバトテ小
シモ殺ヲ受ル一ハアルマジ夫太歳ハ人君
ノ象ニシテ諸神ヲ率領シ是ニ順モノヲ吉
神トス是ニ逆モノハ歳破ヲ始トメ凶神ト
シ方向ハ皆太歳ヨリ演成ス人亦如斯人君
ハ則太歳ノ如ク諸臣ヲ率領シテ萬事ヲ指

揮スルヲ司ドル諸臣君ノ命ニ應スルハ
 順ニシテ應ゼザルハ逆ナリ此理ヲ究レハ
 煞ノ災ヲ降モ太歳是ヲ救ノ理アリ天道人
 道トモ正理ハ皆一ナリ故ニ君命ニテ凶方
 エ到レズ何ゾ其殺ヲ受ルヲアラシヤ然レ
 ドモ慎ベキナレバ日神ノ月徳母倉天赦
 天願等ノ吉日ヲ撰テ發行セハ猶更災ヲ免
 ルベシ又君命計リニテモ無ク總テ親ヲ始
 メ己ヲ指揮スベキ人ノ命ニモ應スベシ一

家ニテハ其宅長ヲ太歳ト心得其命ニ應ズ
 レバ凶方ト雖モ吉凶方向ヲ問ベカラズ吾
 數年來タメシ見ルニ諸侯ノ邊境ヲ安撫セ
 ラレシニ凶方エ向テ發行ノ一アレズ
 台命ヲ受テノ一ナレバ小モ災禍方崇等ノ
 一ナシ又其陪扈ノ諸臣上下數人皆災禍ナ
 シ是又其君ノ命ニ因テ凶方ヲ犯ス一故ニ
 小モ災ナシ若シ其凶方ノ崇ヲ得バ此大勢
 ノ人々皆災ヲ受ベキニ其殺ヲ受ザルハ順

ニシテ君命ニ應ズル故ナラン近來本命的
 煞ナドヲ主張シテ人耳ヲ恐嚇スル輩アリ
 是ガ爲ニ無益ノ心慮ヲ勞スル者ノ爲ニ是
 ヲ辨ズルノミ
 ○受死十死
 今曆ノ下段ニ黒日トテ●此ノ如ク記スア
 リ又十ト如此記スアリ十死ト名ヅク一説
 ニ黒日ハ受死ナリ俗ニ近日ト言十死ハ四
 衝四極トテ十二支相互ニ衝破テ死亡スト

云意ナリ百事ニ忌ベシ又一説ニ受死ノ日
 ハ近日ノ事ナリ此神ハ疫神遊行スル先ニ
 立手足ナク惣身ニ口アリテ蹕廻ノ神ナリ
 又一説ニ十死ハ寶頂山ノ麓ニ法皇アリ久
 命ト號ス其王ニ九人ノ子アリ既ニシテ久
 命王九人ノ子供ニ酉巳丑ノ日ニ至リテ皆
 死タリ故ニ此日ヲ十死トスト云愚按ニ此
 説皆原委ナク理ノ一定スルナク信ジ難
 シトス古ノ民俗受死十死ハ文字ノ凶字ナ

ルユヘ世俗忌嫌テ凶日トシタルカ吾甚ダ
 受死十死ノ關係ナキヲ疑ヒ多クノ書籍ニ
 テ是ヲ見ルニ十死ノ名號ハ何ノ書ニモ見
 エズ受死ハ委シク通徳類情ニ辨アリ其言
 ニ曰夫戌ヲ受死トナスモノハ亥ヲ陽氣剥
 盡スノ地トス乾ノ純陽コレニ居テ萬物ノ
 首ナリ亥ハ首トナレバ戌ハ必ズ終ニ居ル
 故ニ正月戌ニ起ルヲ受死トス是正月バカ
 リヲ指テ言フ逐月コレヲ推ハ其義正ニ通

ズヘカラズ甚關係ナシトアリ是受死ハ忌
 ベキ日ニアラズ十死ノ一其値日ノ例ヲ推
 テ通徳類情ニテ見ルニ呻吟ト號スル日ナ
 リ其考辨ヲ見ルニ轉神歷ニ曰孟月ノ酉日
 仲月巳日季月ノ丑日其日ハ嫁娶ヲ忌ム儲
 華公ガ祛疑說ニ曰酉巳丑ノ殺ハ先天四仲
 ノ総數ナリ寅申巳亥二十二數ヲ合テ子曰
 リ順行二十二ヲ極テ酉ヲ見ル故ニ酉ヲ四
 孟ノ月ノ正殺トス子牛卯酉三十數ヲ合テ

子ヨリ順行ニ二十六ヲ極テ丑ヲ見ル故ニ
丑ヲ四季ノ月トス協紀辨方ニ曰惟季月ノ
丑日ハ真ノ建破魁罡ナリ然トモ紅沙ト同
位ス故ニ呻吟ニテモ忌マズ呻吟ノ日ハ忌
ニ及ハズ刪去ベシトスリ是ガ為ニ嫁娶出
行モ其期天延スハ大ナル妨ナラズヤ此兩
日トモ成日開日ニ會スレバ其日ハ吉日ト
知ルベシ漢ニテモ同ジナリ滅門大禍ハ
其實ヲ究レバ平日收日ニ止リ忌ベキニア

ラザレド其名ノ畏ベキハ滅門大禍ニ過タ
ルハナシ故ニ世俗コレヲ忌ハ誤ナリトア
リ和漢トモ人情ハ同ジ事ナリ故ニ受死十
死トモ忌ベキ日ニアラザルヲ知ルベシ

○二百十日

立春ヨリ二百十日メヲ言リ是ハ日ノ吉凶
神煞ノ一ニ與タルニハ非ズ漢土ノ春牛ヲ
造リ芒神ヲ造ルナド同ク民ニ時ヲ諭スノ
為ナルベシ曆ヲ論ジタル書ニモサシタル

説モナシ吾嘗テ二百十日ヲ今曆ニ増入セ
ラレシ一ヲ聞クニ寛文ノ頃本因坊道策ハ
天下ノ無敵手ナリ安井算哲モ亦高手ナリ
道策ニハ一石ヲ先ニシテ二局連負タリ家
ニ歸リテ數日工夫ヲ極テ寛文十年十月十
七日亦道策ト對局シ天文ノ理ニヨリテ一
石ヲ局ノ真中エ打テ相争シニ終ニ勝一ア
タワズ九日負タリ陸象山ガ局ヲ室中ニカ
ケ仰見ル一兩日ニシテ忽悟テ曰河圖ノ數

ナリ遂ニ天下ノ無敵手トナル是トハ事同
シテ勝負齟齬シタリコノ算哲天文ニ委ク
隱居シテ後天文方ニ召上ラレ武士トナリ
テ瀝川某ト號シタリ此人餘暇アレバ釣ヲ
好テ船ヲ海上ニ浮ブアル年季秋ノ中旬快
晴シテ微風ナク釣器ヲ持テ漁家ニ至リ船
ニ乗ントス此トキ漁者ノ老翁船ヲ止テ曰
海上ニ一點ノ雲アリ必ズ午時スギニハ大
荒ナルベシ且ツ指ヲ屈テ算レバ立春ヨリ

二百十日メナリ余五十年來試ニ二百十日
メヨリ二百十日メ頃マデニハ必ズ海上巽
ノ方ヨリ狂風起リ海陸一時ニ大荒トナル
今日則其期ニ當レリ此時海晴渡リテ平地
ノ如ク漁老ノ下信ゼガレ空ク歸途ニ望
ムニ一陣ノ暴風砂塵ヲ吹上ゲ驟雨盆ヲ傾
ケ漸ニメ家ニ歸リ歎テ曰天文ヲ學デ其理
ヲ究タレ凡漁老人實地ヲ踏テ覺タルニハ
若ズ是ヨリマス天文ニ心ヲ潜ラレタリ

其後二百十日ノ荒ヲ試ニ驗アルニヨリ言
上シテ曆ノ中段ニ増入有リシトナリ愚按
ニ天ノ未ダ陰雨セザルノ先ニ豫ノ牖戸ヲ
綯繆スル鳥ノ雨ヲ防グヲ詩ニ賦タリ二百
十日ヲ増入有リテ民ニ其荒日ヲ教テ宅舎
ノ屋根ヲ修シ破堤ヲ築キ豫メ防グトキハ
水災ヲ免ルノ一助ナルカ今ニ至リテ二百
十日ノ荒日ナルト違ナク荒ザル年ハ萬民
手ヲ拍テ喜ビ又商家ニテ陶ヲ擲テ沈吟ス

ル商家モアリ是皆荒日ノ驗アルニヨリ今
曆ニハ見エザレ凡乗船魚漁水渡ノ忌日ニ
咸地九坎八風等ノ殺アリ二百十日モ是ト
同ク乗船魚漁水渡ヲ忌日トシ可ナランカ

○鬼門吉凶ノ考

一説ニ乾ノ隅ヲ天門トス坤ノ隅ヲ人門ト
ス巽ノ隅ヲ風門トス艮ノ隅ヲ鬼門トス海
外經ニ曰東海ノ中ニ山アリ桃樹屈蟠スル
一三千里東北ニ門アリ鬼門ト號ス萬鬼ノ

聚ル所ナリ天帝神人ヲメ守ラシム鬱壘ト
言フ萬鬼ヲ閱スルヲ主ル人ヲ害スル鬼
アレバ葦索ヲ以縛シ桃弧ヲ以テ射殺シ虎
ニ食ハシム山海經曰東海度朔山ニ大桃樹
アリ蟠屈三千里アリ其枝東北ニ向フ萬鬼
ノ出入スル所ヲ鬼門ト言フ一名ハ神荼一
名ハ鬱壘ト言フ神人アリテ主領ス衆鬼ノ
出入ヲ見テ縛テ虎ニ飼フ因テ後世桃樹ヲ
門戸ニ立テ神荼鬱壘ヲ画テ凶鬼ヲ除ルト

言フ此説ハ古キ説ナレバ妄誕トスベシ一
説ニ鬼門ニ定位アリテ萬代循環セズ此方
又深ク禁止スル幽玄ノ意味アリト知ルヘ
シ其故ハ先ツ鬼門ト言フニツノ字ヲ田
ルムト四ニ訓ズ門ト言フハ萬事ニヨラデ
叶ワヌ場所ナリ鬼ノノドト戻背テ田ト土地
ノ法アル處ヲルノ人ガムノ私スレバ崇ア
リトシテ禁止セシナラン是説ハ近來何人
ノ説ナルヤ文字ノ判斷論ズルニ足ラズ一

説ニ良ノ方ハ窮陰返寒ノ場ニテ生氣少シ

丑ハ十二月寅ハ正月良ノ隅ハ一年ノ境メ

ノ如ク繼タル所ハ自ラ破レ安ク破レニ乗

テ窮陰ノ鬼集ル故ニ鬼門ト言フ此説モ穩

ナラズ先ニ言フ神荼鬱壘ノ一ハ鬼門ノ一

ニ與ズ黄帝ノ時ニ神荼鬱壘ト二人ノ兄弟

アリ性ヨク鬼ヲ執フ黄帝挑板ヲ以テ二人

ノ形ヲ門ニ画テ衆鬼ヲ禦ク通書ニ見エタ

リ愚按スルニ丑寅ノ隅ヲ鬼門ト號ス黄帝

ノ遯甲經ニテハ良ヲ生門トシテ吉トス丑
 寅ノ隅ニ此兩名アルハ十二支寅ヲ以テ首
 トスレバ丑ハ終ナリ寅正月丑十二時ニ取
 テハ丑ニ大陽地下ニ沈ミ寅ニ大陽ノ耀光
 テニ通ズ丑ハ窮陰ニシテ物ヲ剥滅ス寅ハ
 少陽ニシテ物ヲ發生ス陰陽兩端ノ地剥滅
 ヲ指テ鬼門ト號シ發生ヲ指テ生門ト名ヅ
 ク其理彰々タリサテ丑寅ノ隅ヲ凶方トス
 ルハ辨論計ニテモナク神變不思議ノ秘訣

アリ其原理ハ河圖洛書ノ相生相尅ヨリ見
 出シタルナリ此河圖洛書ノ一ヲ毛奇齡
 ガ西河合集ニ原舛編ヲ著テ華山ノ陳搏カ
 假假ト論スレバ伏羲ノ八卦禹ノ九疇コ
 レニ本ヅク相生相尅妙アル一尊々餘リア
 リ吾嘗テ錦城先生ノ門ニ入テ家相ノ術ヲ
 受繼キタル時先生自ラ卦象ヲ持テ門戸ノ
 開禁ヲ教ラレタリ予此トキ初テ鬼門ノ凶
 方タルヲ發明ス實ニ秘訣ナレバ是ヲモ又

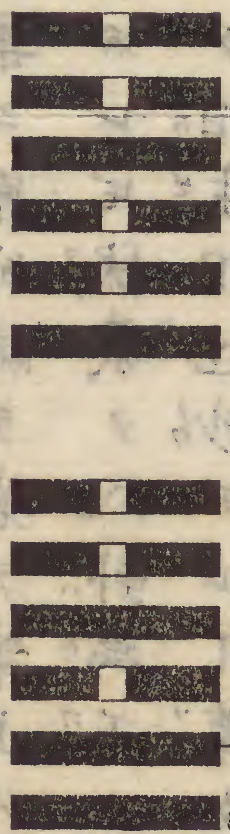
傳

○門戶禁闕秘傳

玄機略人例二十四山方位四方ノ門戶ハ

第二爻ヲ變ズルヲ法トス

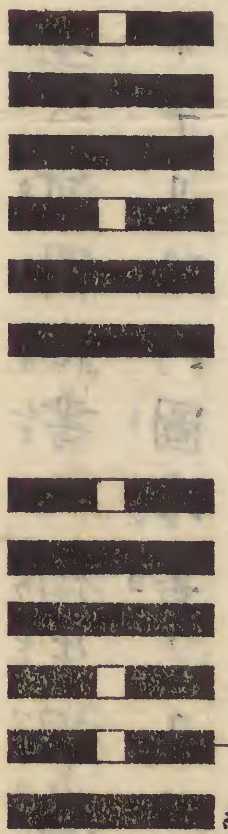
東ノ門戶



金尅木

變爻

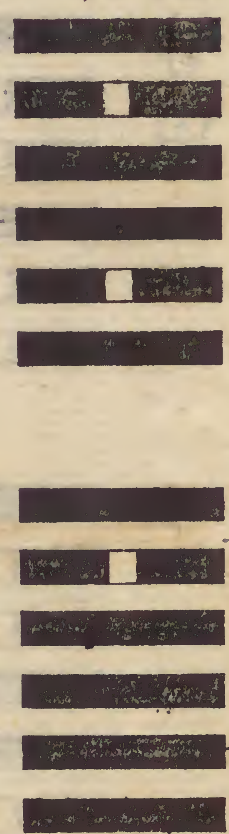
西ノ門戶



金尅木

變爻

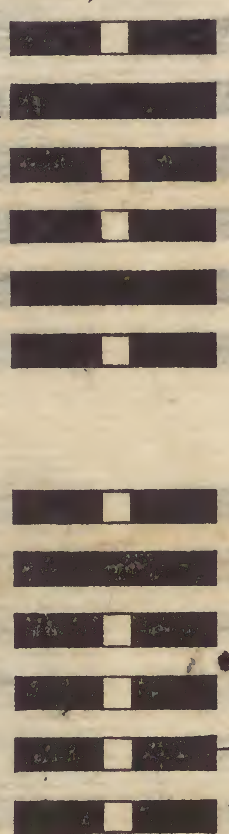
南ノ門戶



火尅金

變爻

北ノ門戶

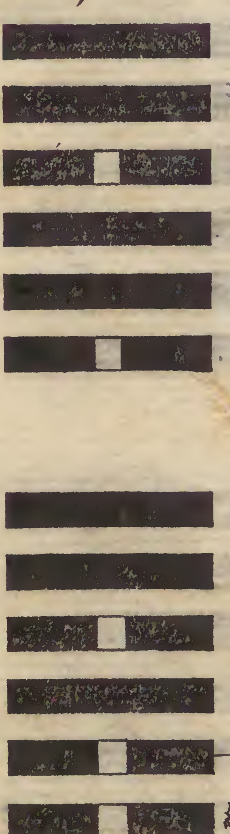


土尅水

變爻

以上四方正當ハ皆凶

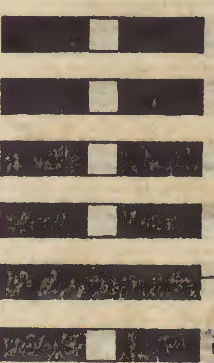
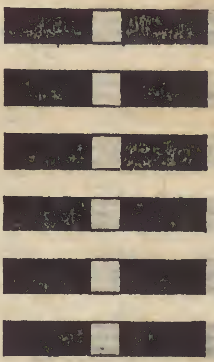
巽ノ門戶



木尅土

變爻

坤ノ門戸



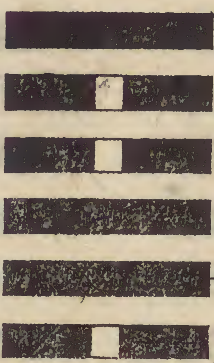
土尅水

乾ノ門戸



火尅金

艮ノ門戸

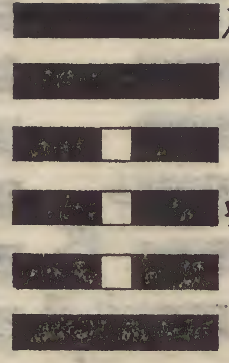


木尅土

以上四隅皆凶

玄機略ノ例ニ二十四山ノ方向十干ノ内中
央ハ門戸ニ配セズ第二爻第五爻ヲ變ズル
ヲ法トス

辰

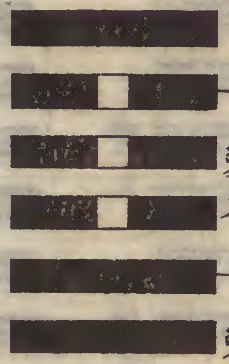


二木相比

乙卯

辰卯ノ門戸

變爻



土生金

變爻

午

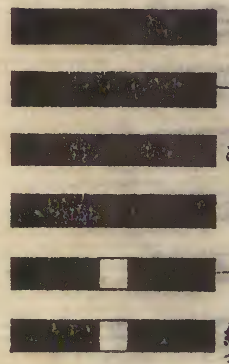


木生火

丙巳

巳午ノ門戸




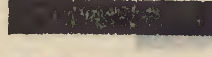



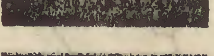

變爻




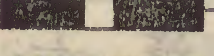










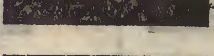










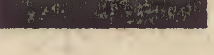
土生金

變爻




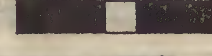


禮記解言卷之十一

		
戌	酉	未
		
		
		
		
		
酉 辛 戌 酉 土金相比 ノ 門 戶	申 庚 申 酉 土生金 ノ 門 戶	午 丁 未 午 火生土 ノ 門 戶


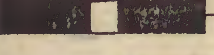


		
		
		
		
		
		
變爻	變爻	變爻
變爻	變爻	變爻
木生火	水生木	金生水






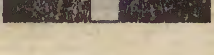
	子
	
	
	亥
	
	
壬 子 亥ノ門戶	金生水

以上六方干ノ門戶吉

	丑
	
	
	子
	
	
癸 丑 子ノ門戶	土尅水

甲 寅
卯ノ門戶

	變爻
	變爻
	變爻
	變爻
	變爻
	變爻
火生土	

	變爻
	變爻
	變爻
	變爻
	變爻
	變爻
木尅土	

春雪解話卷上

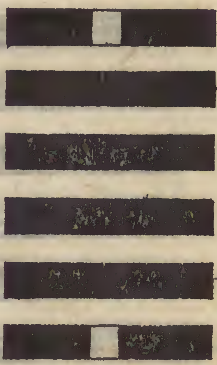
卯



寅

木尅土

變爻



變爻

金尅木

五

以上丑寅二方凶

十干ノ門戸卦ヲ立テ是ヲ占フニ皆相比シ

相生ズルヲ圖ノ如シ惟丑寅計ハ相尅ヲ免

レザルハ奇ト言フベシ是ニテ鬼門ノ凶タ

ルヲ知ルベシ

春雪解話卷上 終

